



2017・2・11

第 263 号

101-0065 東京都千代田区  
西神田 2-5-7 神田中央ビル 303

TEL 03-3221-5075

FAX 03-3221-5076

## 「9条守ろう」の声 住民の心に届けることめざし

### 新成人に九条ティッシュ配り

【埼玉県東松山市・東松山九条の会】 東松山市の成人式がおこなわれた1月8日、寒風のなか、千人あまりの新成人が振袖やスーツ姿で会場に急ぎます。

「成人、おめでとうございます！」と声をかけると、笑顔でティッシュを受け取ってくれます。用意した550個は1時間で完配。

とりわけ今年は受け取りが良かったのはなぜでしょうか。もしかしたら、この国の平和がこの先も続くのか…そんな不安を漠然と新成人たちは感じているのかもしれない。

娘さんを成人式に送りに来た婦人から、「九条の会の山本茂先生とは近しかったので残念でなりません」と声をかけられました。川女での教え子だったのでしょうか。先生のご遺志を大切につないでいかなければと思いました。

それにしても、年々配布や宣伝活動への規制が強まっています。今年は「敷地内での宣伝、配布は認めない」といわれましたが、敷地外から馬橋代表が堂々と「憲法を守ろう」と訴えました。

### 九条の会第6回全国交流集会の 成果をこれからの運動に =< 報告集 >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ(澤地久枝)/問題提起(小森陽一)/世話人あいさつ・メッセージ/分散会の報告(第1～第7分散会)/資料 アンケートから見た九条の会の課題、他

◇B5判 76頁 1冊 800円(〒82)

5部以上〒無料 10部以上1割引

### =< DVD >=

◇主な内容 呼びかけ人あいさつ/事務局長報告/世話人あいさつ・紹介

◇取り扱い 1本 1500円(〒160)

参加18人。遠藤芳男(大谷)

(「東松山九条の会ニュース」No53)

### 5月3日に向けて意見ポスター

【新潟県・新潟県9条の会】 新潟県9条の会が「自衛隊員を戦場に送らない 戦争法廃止 19条守れ!」の意見広告ポスター2万枚を5月3日の憲法記念日までに張り

出すことを呼びかけ、各地の9条の会では賛同者募集の取り組みが進められています。

阿賀野9条の会では、何としても自衛隊員を戦争に巻き込んではいないと、地区代表者会議を開き、300人の会員にニュース配布とあわせ、呼びかけ文やビラ、申込書を送付。100人を超える賛同者の組織をめざし、旧4市町村ごとの地域目標も決め、地区ごとに対策会議を開き、活動を進めています。

魚沼9条の会は、戦争法廃止の運動や知事選での野党共闘でできた新しい結びつきを生かし、地域の諸団体や社民党、自由党の人たちにもビラを渡し、募集の呼びかけをしています。

新潟市北区9条の会は、1月に開いたドキュメンタリー映画「いのちの森高江」の上映会と沖縄問題での憲法カフェを成功させた力で、会員以外にも賛同者を広げ、前回の賛同者200人を上回る取り組みにしようと奮闘しています。

意見広告ポスターの賛同拠出金は、個人1口1000円、募集締め切りは2月末。

## 校区ごとに9条の会めざす

**【福岡市南区・南区9条の会】** 福岡市南区9条の会は1月28日、総会を開き、地域9条の会の会員ら約50人が参加しました。

安東毅代表世話人（九州大学名誉教授）が同会の10年の活動を振り返りあいさつしました。

中国現代史研究家の岩佐英樹氏から南京事件や重慶爆撃、中国人強制連行など「人道に対する罪」について学びました。

10周年記念の集いの計画や、学習会など

の開催、校区ごとに9条の会をつくる活動方針が採択されました。

## トランプ政権の危険性学ぶ

**【鳥取市・鳥取市9条の会】** 鳥取市9条の会は1月29日、市内で講演会と総会を開き、約100人が参加しました。同会の副代表を務める鳥取大学の藤田安一教授が「トランプ大統領の誕生で、わが国の『憲法改正』はどうか」と題して講演しました。

藤田氏は、トランプ米大統領の言動から軍事的な対日要求が強まり、日本は米軍駐留経費や米国の軍事費の肩代わり、自衛隊による米軍の補完など軍事化がすすみ、憲法9条をはじめとした改憲の動きに拍車がかかると予測しました。

今後の日本の進路として、武力に頼らない自主平和路線を提唱。そのために憲法改悪や安保法制＝戦争法に反対の人を幅広く結集して、米国にくみする安倍政権に対抗しようと訴え、「米国の圧力で国民との矛盾が激しくなる今、米国への従属を断ち切って憲法に基づいた国づくりを」と呼びかけました。

## 保育園で父母らが「平和のつどい」

**【札幌市東区・光星はとぽっぽ9条の会等】** 札幌市東区の光星はとぽっぽ9条の会、みかほ9条の会、ぽぷら9条の会は1月25日、区内の保育園ホールで、「第11回憲法9条を守る平和のつどい」を開きました。子連れの父母、保育士、地域の人たちが参加しました。

光星はとぽっぽ9条の会の山本薫子会長

が開会あいさつ（代読）。

講演した9条ネット北海道の今野平支郎事務局長は「安倍政権がねらっている『緊急事態条項』は『独裁国家』への道」と警鐘を鳴らし、自民党改憲草案の98条では「わが国に対する地震、災害救助、テロ、戦争などの緊急時に、内閣総理大臣は『緊急事態の宣言』を発することができる」としていることを紹介しました。

今野氏は、安倍政権が成立をねらう「共謀罪」について、人権無視、憲法違反と批判。「憲法は権力を縛るもの。しかし12条には『国民に保障する自由及び権利は、国民の不断の努力によって、これを保持しなければならない』と呼びかけています。深く学び、まわりに知らせる不断の努力を一人ひとりが行いましょう」と結びました。

### 学ぶことで今後に展望を

**【愛知県・あいち女性九条の会】** あいち女性九条の会は1月29日、名古屋市名東区で、藤原辰史京都大学准教授を招いた講演会を開催し、会場いっぱいの55人が参加しました。

共同代表の野間美喜子弁護士があいさつにたち、「安倍政権によって安保法制がつけられ、日本の若者たちが戦場に送られています。暗い時代の中で、明るい未来を切り開くために展望を語っていきたい」と話しました。

藤原氏は現在のアメリカ、日本とナチス・ドイツを比較。「ただ現状について批判するだけではいけない。ナチズムの台頭は、現状に不満を抱く人たちの中から生まれたもの」と指摘しました。

### 泊まりこみで交流会

**【神奈川県・九条かながわの会】** 年末の12月11日午後、湯河原観光会館で、地元の湯河原女性九条の会の7名を含む県内各地の九条の会の代表32名が集まり、九条かながわの会第2回泊り込み交流会が開催されました。

まず事務局代表の岡田尚弁護士が「今、ここに、共に、生きる—安倍・トランプ的なるものとどうたたかうか」について話題提供しました。

岡田さんは、参議院選後の沖縄高江の実行使、新潟県知事選と衆院補選の結果、TPP国会強行、南スーダン新任務などの情勢について述べ、「今こそ実践的学習が必要、声高な正義のおしつけではなく、隣の人に分かりやすくささやくように話かけることが求められている」と語りました。

質疑の後、湯河原女性九条の会、富岡・能見台地域九条の会、宮前九条の会、あつぎ・九条の会、大和九条の会、九条の会・ちがさき、ふじさわ・九条の会、横須賀市民九条の会などから次々と活動の紹介と交流が行われました。弁護士から、弁護士会の活動や司法の反動化について発言がありました。

交流会の終了後は、千代田荘に会場を移して、懇親会も開催され、さらに交流を深めました。今後の各会の活動にとって有意義な交流会となりました。

（「九条かながわ」No12より）